

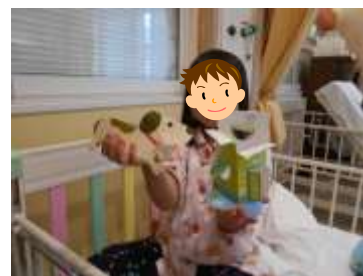
# たんぽぽ



## ベッドサイド学習、頑張っているよ！

11月は、天気が安定していて過ごしやすいのですが一方でコロナ感染者が増えています。年度末に向けて緊張した生活を強いられるようです。マスクを着用し、手洗い、うがいをして感染予防に努めたいものです。

さて、北里学級では、学習参加申し込みのあった児童・生徒に次のように対応しながら学習を進めています。学習時間は、午前午後とも15分。児童・生徒・教師はマスクをする。2mのソーシャルディスタンスをとる、等です。午前は、国語や算数のスキルやドリルを中心に学習をしています。午後は、音楽（CD観賞）、図工に取り組みます。折り紙を使ってカブト虫を作ったり、子犬と犬小屋を作ったりします。Aさん（4年）は、お母さんへの誕生日プレゼントとしてビーズで腕輪を作ったり、アイロンビーズでお花を作ってプレゼントしました。「お母さんが素敵なプレゼントありがとうと言ってくれたよ」とAさんがうれしそうに話してくれました。お絵かきが好きなBさん（5年）は、後から入院してきた幼稚園児を励まそうとして紙芝居を5ページ分作りました。



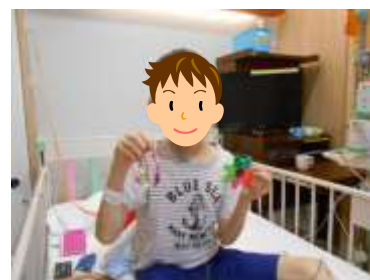
子犬、かわいいでしょ

紙芝居の内容は、

- ・お医者さんは、かっこよくて優しく治療してくれるよ。
- ・看護師さんは、いつも笑顔で話してくれたり世話をしてくれたりするよ。時々、絵本を読んでくれたり勉強も教えてくれたりするよ。
- ・部屋の人とトランプやゲームをしてすぐに友だちになれるよ。ご飯はいつもおいしいよ。おやつもでるよ。

等です。紙芝居を見た幼稚園児は、「紙芝居がおもしろかった。優しいお姉さんがいてくれて良かった。」という感想を聞かせてくれました。感想を聞いた女の子（5年）は、とても嬉しそうでした。

日々、病気の治療と向き合っている子どもたちですが「人とのつながりが和みに」ということは素晴らしいことです。北里学級スタッフとしても、学習参加者が学習が充実し、行事を通して和んだ入院生活になるよう努めて参ります。



お母さんへの誕生日プレゼント



紙芝居 始まり始まり

## ハロウィーン お楽しみ会

北里学級では、子どもたちが病気や治療のことを忘れて少しでも楽しい思いができるようにと、季節に合わせた催しを行っています。10月31日には、保育士さんが中心となって「ハロウィーンお楽しみ会」がありました。歌を歌ったり、「ハロウィーンって何かな」というお話を聞いたり、クイズに答えたりしました。その後、カボチャの作り方の見本を見ながら、オレンジ色の折り紙でカボチャを作りました。カボチャができあがり、満足した表情がみられました。

折り方の見本をみながら カボチャができたよ

